

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 1 区分

【発行日】平成25年10月3日(2013.10.3)

【公開番号】特開2012-47111(P2012-47111A)

【公開日】平成24年3月8日(2012.3.8)

【年通号数】公開・登録公報2012-010

【出願番号】特願2010-190444(P2010-190444)

【国際特許分類】

F 0 4 B 53/16 (2006.01)

F 0 4 B 43/04 (2006.01)

A 6 1 B 17/32 (2006.01)

F 0 4 B 43/02 (2006.01)

【F I】

F 0 4 B 21/00 K

F 0 4 B 43/04 B

A 6 1 B 17/32

F 0 4 B 43/02 D

【手続補正書】

【提出日】平成25年8月19日(2013.8.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

流体の供給を受ける流体室と、

前記流体室に連通する入口流路及び出口流路と、

流体をパルス噴射する、出口流路の前記流体室に対して逆方向端部に設けられた流体噴射口と、

前記入口流路に連通し、前記流体室に流体を供給する流体供給手段と、

前記流体供給手段を制御する流体供給手段制御部と、

前記流体室内の流体に脈流を発生させる脈流発生手段と、

前記脈流発生手段に駆動信号を発信する脈流発生手段制御部と、

前記流体供給手段制御部および前記脈流発生手段制御部に作動指令を発信する作動指令発信部と、

前記流体供給手段から前記入口流路の間に少なくとも1つ備えられた第 1 流路切換手段と、

前記出口流路から前記流体噴射口の間に少なくとも1つ備えられた第 2 流路切換手段と

、  
前記第 1 流路切換手段と前記第 2 流路切換手段のそれぞれの動作を制御する流路切換手段制御部と、

を備え、

前記脈流発生手段制御部は、前記作動指令発信部からの作動指令により、所定の駆動信号に基づいて前記脈流発生手段を動作させ、

前記脈流発生手段は、駆動開始から脈動を発生するまでの第 1 期間を除く、第 2 期間に駆動され、

流路切換手段制御部は、第 1 流路切換手段を前記第 1 期間内、もしくは前記第 2 期間に

発生させる最終の脈動流体の噴射開始時に動作させ、

第 2 流路切換手段を前記第 1 期間内、もしくは前記第 2 期間の最終の脈動流体の噴射終了時に動作させることを特徴とする流体噴射装置。

【請求項 2】

前記第 1 期間は、60 秒以内であることを特徴とする請求項 1 に記載の流体噴射装置。

【請求項 3】

前記駆動信号は、単一の波形、もしくは複数の波形を含む脈動波群であることを特徴とする請求項 1 から請求項 2 のいずれか一項に記載の流体噴射装置。

【請求項 4】

前記作動指令発信部は、フットスイッチもしくは音声認識装置であることを特徴とする請求項 1 から請求項 3 のいずれか一項に記載の流体噴射装置。